

## カラービデオ受像機

### 取扱説明書 工事説明付き

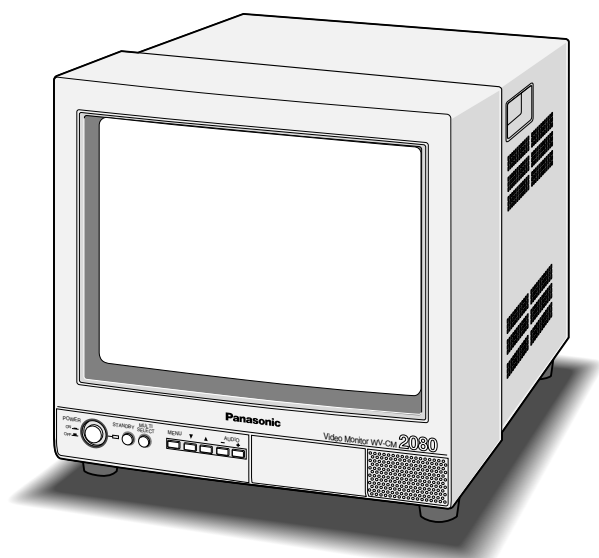
品番 WV-CM2080  
WV-CM1780  
WV-CM1480

このたびはカラービデオ受像機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



イラストは、WV-CM2080です。

上手に使って上手に節電

### もくじ

商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
安全上のご注意.....	3
操作上のお願い.....	6

各部の名前と働き（前面）.....	7
操作のしかた.....	8
画像調節のしかた.....	9
スタンバイ機能を使う.....	12
通信機能の設定のしかた.....	13
システムコントローラーでの操作.....	16

工事説明.....	17
各部の名前と働き（後面）.....	18
接続のしかた.....	19
PS・Dataシステムの接続について.....	22
ラックマウントのしかた.....	23
付録.....	24

故障と思われる前に.....	26
仕様.....	27
保証とアフターサービス.....	裏表紙

はじめに

操作説明

工事説明

他

# 商品概要

本機はカラーカメラやVTRに接続して使用するカラービデオ受像機です。

- 中・高精細ブラウン管と、くし型フィルターの採用により、以下の水平解像度（中心部）を実現しています。  
WV-CM2080（21型）...500本以上、WV-CM1780（17型）...800本以上  
WV-CM1480（15型）...750本以上
- 映像入出力端子が3系統(コンポジット映像信号×2、S映像信号×1：入力のみ)あり、前面ボタンで切り換えできます。
- 音声入出力端子が2系統(入出力 B は、映像 B および S-VIDEO 共用)あり、前面ボタンで切り換えできます。
- スタンバイ機能（低輝度画、黒画）により、消費電力を削減します。また、ブラウン管の焼き付けを抑えることができます。
- スタンバイON/OFF入力端子を使って、アラームと連動させたスタンバイ運用ができます。
- オンスクリーンで次の項目を調節、選択ができます。
  - 明るさ
  - 色の濃さ
  - AFC（Auto Frequency Control：自動周波数制御）
  - 音量
  - コントラスト
  - 色あい
  - スタンバイ ON 入力設定
  - 画質
  - 3.58 MHz トラップフィルター
  - CH 表示設定
- 0.7W出力のスピーカーを内蔵しています。
- PS・Data（13ページ）モードに対応しており、PS・Dataモード対応のシステムコントローラーで本体ボタン操作と同じ操作ができます。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	1
電源ケーブル（約1.8 m）	1
保証書	1

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



内部に高電圧があり、感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがあるなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

### 可燃性雰囲気中で使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

### 重量に耐える場所に 取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

- 取付場所を補強してください。

**10度以上傾斜のある場所  
には設置しない**



落下などで、けがの原因となります。

禁止

- 傾斜のある場所に設置するときは、必ず落下防止処置を行ってください。

**不安定な場所に置かない**



落下などでけがの原因となります。

禁止

**取り付けねじはしっかりと  
しめる**



落下などで、けがの原因となります。

- 取り付け工事は必ず販売店にご依頼ください。

**⚠️ 注意**

**落とさない、強い衝撃を  
与えない**



けがや火災の原因となります。

禁止

**踏み台や腰掛けにしない**



けがの原因となります。

禁止

# 操作上のお願い

**⚠ 警告、⚠ 注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

直射日光の当たる場所での使用は避けてください。  
高温下での使用は避けてください。

ていねいにお取り扱いください。  
落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

使用温度範囲をお守りください。  
- 10 以下の寒いところや、50 以上の暑いところに設置したり使用したりしないでください。

厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

放熱口はふさがないでください。  
放熱口をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。

持ち運ぶときは電源スイッチを必ず切ってください。

## 電源スイッチについて

本機の電源スイッチは電源スイッチを「OFF ■」にしても、電源からは遮断されません。  
電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## 静電気について

ブラウン管の表面に手を触れると、ごく弱い電気を感じる場合があります。これは、静電気を帯びているためです。異常ではありません。

## 電波障害について

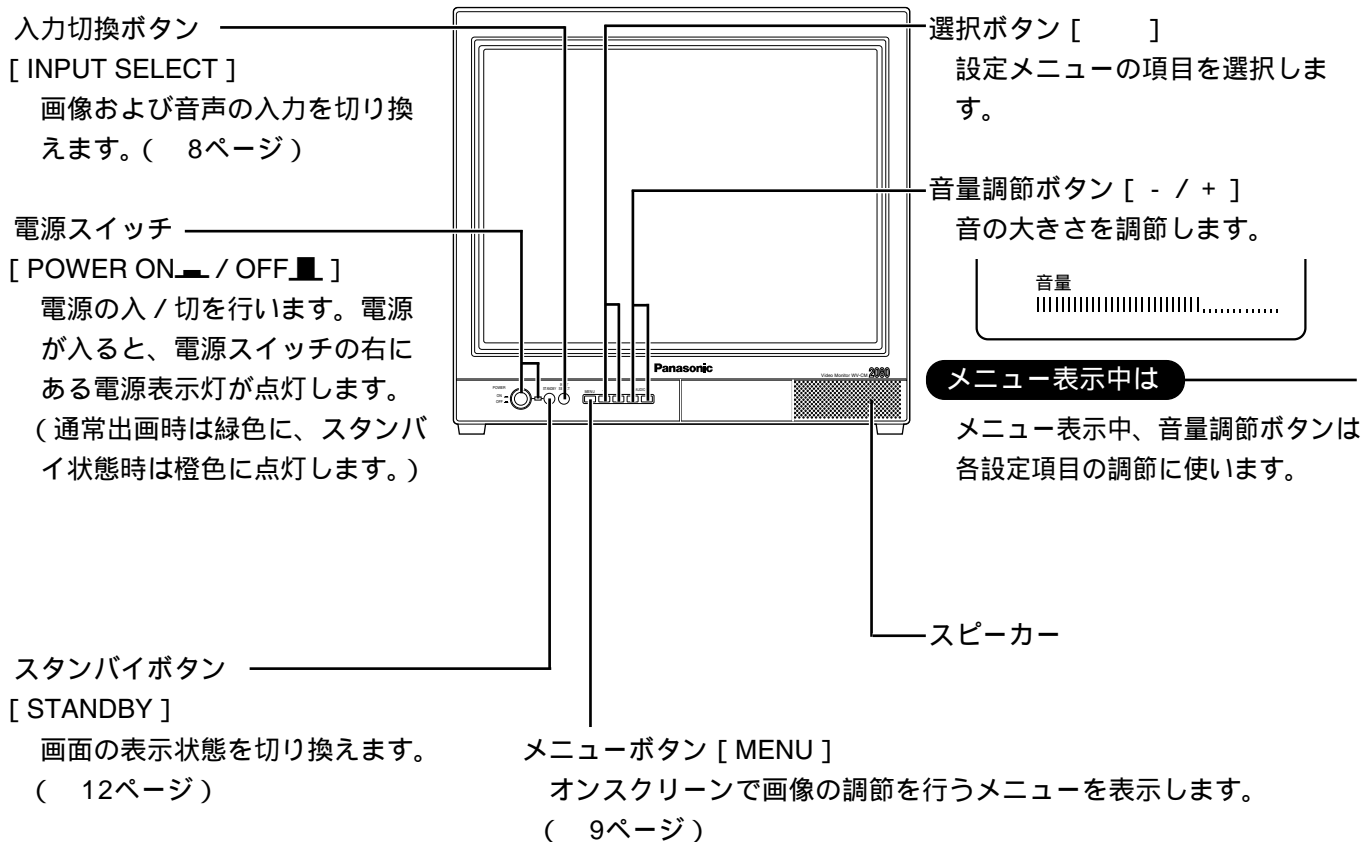
テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランス、無線機器などの強い電界、磁界の近くで使用すると、影響を受けて雑音が入ったり、映像が曲がったり、その他の異常動作をすることがあります。このような場合はカメラケーブルを専用の薄鋼電線管に通線するか、ビデオ受像機を電界・磁界の発生源から影響がなくなるまで遠ざけてください。2台以上のビデオ受像機を使用するときはビデオ受像機ごとに電線管を設けてください。

## お手入れについて

電源を切って乾いた布でふいてください。  
ほこりがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。  
ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。  
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってご使用ください。

# 各部の名前と働き（前面）

イラストはWV-CM2080です。



明るさ	0	1 頁
コントラスト	0	
画質	0	
色の濃さ	0	
色あい	0	
AFC	SHORT	
3.58トラップ	OFF	
モニタ リセット		

画像調節メニュー

音量	0	2 頁
スタンバイON	モード 1	
CH表示	OFF	

このボタンを5秒間押し続けると、通信機能の設定を行うメニューを表示します。( 13ページ)

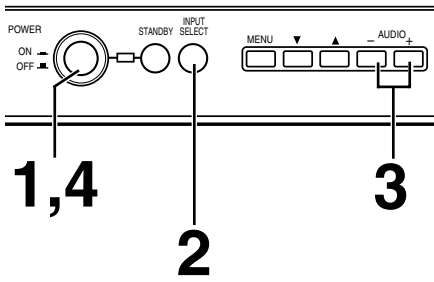
COMMUNICATION SETUP	
UNIT ADDRESS	1
CAM CONFIG	7
BAUD RATE	9600
DATA BIT	8
PARITY CHECK	NONE
STOP BIT	1
WAIT TIME	OFF
SETUP DISABLE	






PS・Data 設定メニュー

# 操作のしかた

## 操作を始める前に

操作を始める前に、各機器が正しく接続されているか確認してください。(接続のしかた 19ページ)  
その後、付属の電源ケーブルを本機後面の電源入力、AC100V電源コンセントに接続してください。



- 1** 電源スイッチを「ON」にする。  
電源表示灯が点灯します。  
 点灯
- 2** 表示するチャンネルを選択する。  
入力切替ボタンで切り換えます。  
選んだチャンネルの画像が表示されます。  

- 3** 音量を調節する。  
で音量を調節します。音量はバーで表示されます。  
  
  
音を小さくします。      音を大きくします。
- 4** 電源スイッチを「OFF」にする。  
電源表示灯が消灯します。  
 消灯

## 電源スイッチについて

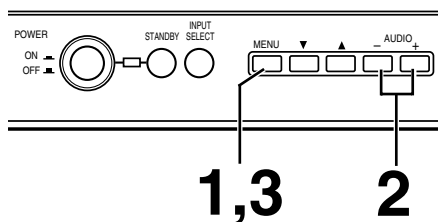
本機を長期間使用しないときは節電のため電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
本機の電源スイッチは電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## 選んだチャンネルと画像表示について

選択チャンネル	映像入力端子	音声入力端子
A CH	VIDEO A IN	AUDIO A IN
B CH	VIDEO B IN	AUDIO B IN
S-VIDEO	S-VIDEO IN	AUDIO B IN



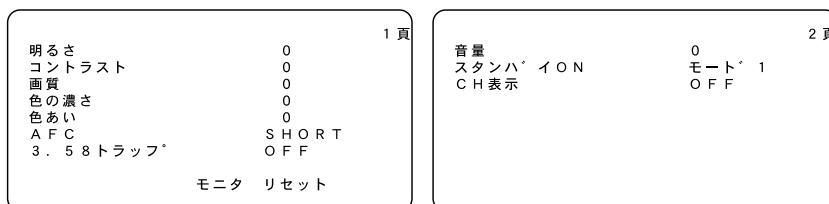
# 画像調節のしかた



1

## 画像調節メニューを表示する。

MENU を押すと画像調節メニューがオンスクリーン表示されます。



画像調節メニュー(画面はお買い上げ時の状態です)

調節したい項目は  $\downarrow$   $\uparrow$  で選択します。

2

## 画像を調節する。

AUDIO +/- で調節します。調節内容はバーと数字で表示されます。



### 引き続き調節を行うには

- 調節中に  $\downarrow$   $\uparrow$  を押すと、続けて次の項目を調節できます。
- バー表示中に MENU を押すと、画像調節メニューに戻ります。

3

## 画像調節メニューを終了する。

MENU を押します。

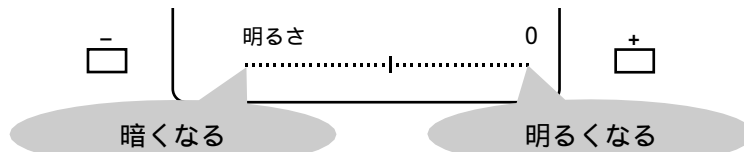
- 画像調節メニューは10秒間操作しないと自動的に消えます。

### 画像調節メニューについて

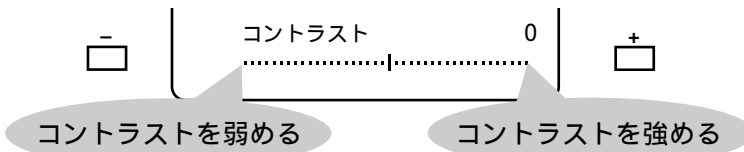
明るさ	画面の明るさを調節します。
コントラスト	明暗比を調節します。
画質	画像の柔らかさを調節します。
色の濃さ	色の濃淡を調節します。
色あい	肌色を基準に色の具合を調節します。
AFC	入力映像に合わせて、周波数の制御方式を選択します。
3.58トラップ	3.58 MHz トラップフィルターの入/切を選択します。
音量	スピーカー音量を調節します。
スタンバイ ON	後面スタンバイON入力端子に信号が入力されたとき、通常出画状態から移行するスタンバイモードを選択します。
CH 表示	チャンネル表示(画面左上)の表示時間を選択します。

## 画像調節のしかた

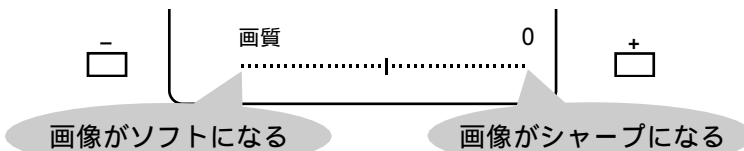
### 「明るさ」の調節



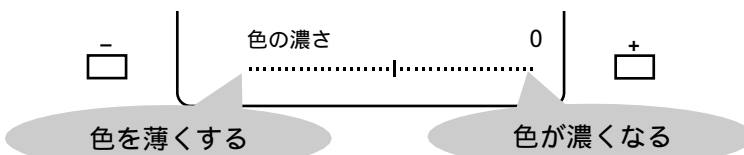
### 「コントラスト」の調節



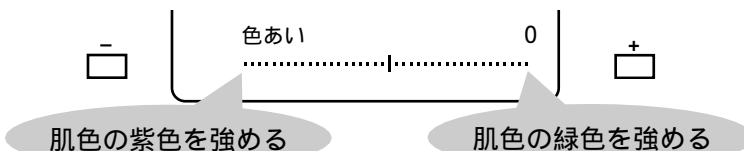
### 「画質」の調節



### 「色の濃さ」の調節



### 「色あい」の調節



### 「AFC」の調節

<sup>-AUDIO+</sup> で「LONG」「SHORT」を切り換えます。

LONG : VTRの再生画像やテレビ放送など、ノイズが多い信号を入力するとき。

SHORT : カメラ信号などを入力するとき。(お買い上げ時設定)


### 「3.58トラップ」の調節

<sup>-AUDIO+</sup> で「ON」「OFF」を切り換えます。


ON : 画面上のクロス・カラーノイズを低減したいとき。(3.58 MHz トラップフィルター : 有効)

OFF : 通常時。(お買い上げ時設定)(3.58 MHz トラップフィルター : 無効)

## 「音量」の調節

 で調節します。バー表示はされませんが、8ページに記載されている音量調節と同じ機能です。

## 「スタンバイON」の調節

 で「モード1」「モード2」「無効」を切り換えます。

モード1：スタンバイ ON 信号が入力されると、通常出画状態からモード1（低輝度画）スタンバイに変わります。（お買い上げ時設定）

モード2：スタンバイ ON 信号が入力されると、通常出画状態からモード2（黒画）スタンバイに変わります。

無効：スタンバイ ON 信号が入力されても、通常出画状態から変わりません。

## 「CH 表示」の調節




 で「ON」「OFF」を切り換えます。

ON：画面左上に常時表示されます。

OFF：画面を切り換えてから、約3秒間、画面左上に表示されます。（お買い上げ時設定）

### お買い上げ時の状態に戻すには

画像調節メニューの1ページ目の内容（9ページに記載）をお買い上げ時の状態に戻すには、

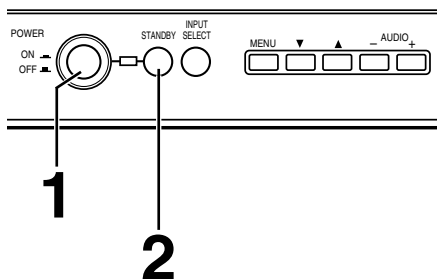
  で「モニタ リセット」を選んでから、 を押してください。

画像調節メニューの2ページ目の内容（9ページに記載）をお買い上げ時の状態に戻すには 15ページ

# スタンバイ機能を使う

## スタンバイ機能を使うと

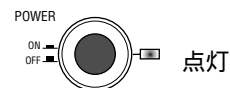
消費電力を削減するとともに、ブラウン管の焼き付けを抑えることができます。



1

電源スイッチを「ON」にする。

電源表示灯が点灯します。



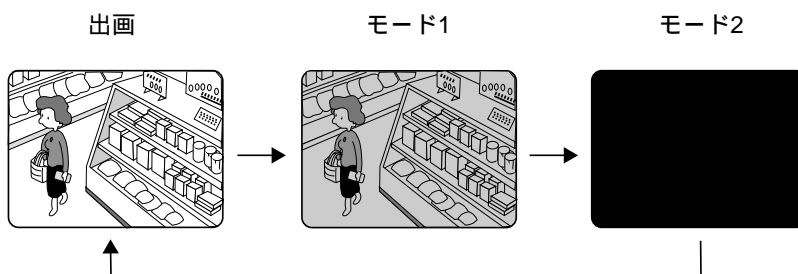
2

画面をスタンバイ状態にする。

スタンバイボタンを押します。



スタンバイボタンを押すたびに、下記のように画面が順次切り換わります。



スタンバイ状態時、電源表示灯は橙色に点灯します。

スタンバイ状態になると、音声は出力されません。

3

後面のスタンバイOFF入力端子に信号を入力する。

スタンバイ状態になる前のチャンネルを表示します。

電源表示灯は橙色から緑色に変わります。

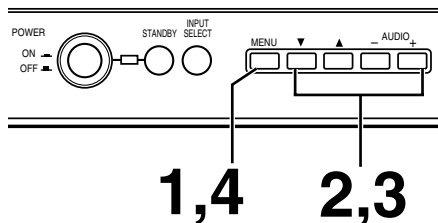
4

後面のスタンバイON入力端子に信号を入力する。

再びスタンバイ状態になります。

画面の状態は、画像調節メニューで設定したスタンバイモードに移行します。 11ページ

# 通信機能の設定のしかた



## 1

PS・Data 設定メニューを表示する。

を5秒間押し続けると、PS・Data 設定メニューがオンスクリーン表示されます。

```

COMMUNICATION SETUP
UNIT ADDRESS          1
CAM CONFIG            ↵
BAUD RATE             9600
DATA BIT              8
PARITY CHECK          NONE
STOP BIT              1
WAIT TIME             OFF
                        SETUP DISABLE
  
```

PS・Data 設定メニュー  
(画面はお買い上げ時の  
状態です)

調節したい項目は   で選択します。

### 誤操作防止について

PS・Data 設定メニューを表示すると、一番下の行に「DISABLE」(設定不可能)が表示されます。これは誤操作による設定内容の更新を防ぐため、この状態で設定内容を変更することはできません。

## 2

設定状態を切り換える。

でカーソルを「DISABLE」に合わせて、

を押します。

「DISABLE」が「ENABLE」(設定可能)に変わり、設定内容を変更できるようになります。

```

WAIT TIME            OFF
                    SETUP ENABLE
  
```

## 3

設定する。

で設定項目を選択して、

## 4

PS・Data 設定メニューを終了する。

を押します。

### PS・Data 設定メニューについて

UNIT ADDRESS	本機のユニットアドレスを設定します。
CAM CONFIG	カメラ番号設定メニューを表示します。( 15ページ)
BAUD RATE	ボーレート(データ通信速度)を設定します。
DATA BIT	8ビットに固定されているため、この項目はスキップされます。
PARITY CHECK	パリティチェックを設定します。
STOP BIT	ストップビットを設定します。
WAIT TIME	データの再送時間を設定します。

1 パナソニック セキュリティ データ の略称。PS・Data モードに対応した機器間は、RS-485 通信によって制御が可能になります。

## 通信機器の設定のしかた

### ユニットアドレスの設定

<sup>AUDIO+</sup> で1～99の値を設定します。(お買い上げ時設定：1)

### ボーレート 2の設定

<sup>AUDIO+</sup> で「2400」「4800」「9600」「19200」を切り換えます。

2400 : 2400 bps

4800 : 4800 bps

9600 : 9600 bps (お買い上げ時設定)

19200 : 19200 bps

### パリティチェック 3の設定

<sup>AUDIO+</sup> で「NONE」「EVEN」「ODD」を切り換えます。

NONE : パリティチェックなし (お買い上げ時設定)

EVEN : 奇数

ODD : 偶数

### ストップビット 4の設定

<sup>AUDIO+</sup> で「1」「2」を切り換えます。

1 : 1ビット (お買い上げ時設定)

2 : 2ビット

### データの再送時間 5の設定

<sup>AUDIO+</sup> で「OFF」「100」「200」「400」「1000」を切り換えます。

OFF : データの再送をしない (お買い上げ時設定)

100 : 100 ms

200 : 200 ms

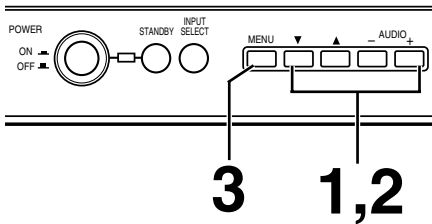
400 : 400 ms

1000 : 1000 ms

- 2 1秒間に送るデータ量のことです。例えば9600 bpsの場合、1秒間に9600ビットのデータを送ります。
- 3 電送誤りをチェックするために付加するビットです。
- 4 データの終わりを表すビットです。
- 5 送信したデータの受信確認 (ACK) がなかった場合に、再度データを送るまでの時間です。

カメラ番号設定メニュー

PS・Data を使用して制御するカメラを、入力チャンネルに割り当てます。



**1** カメラ番号設定メニューを表示する。  
 ▼ ▲ でカーソルを「CAM CONFIG」の行に合わせて、  
 □ □  
 \_AUDIO\_+ を押します。

CAMERA CONFIG	
INPUT CH	CAM NO.
A CH	001
B CH	002
S-VIDEO	003

カメラ番号設定メニュー(画面はお買い上げ時の状態です)

**2** PS・Data のチャンネル番号を設定する。  
 ▼ ▲ で設定したい入力チャンネルに合わせて、  
 □ □  
 \_AUDIO\_+ でPS・Data のチャンネル番号を設定します。

001 ~ 128 : 001 ~ 128番

PS・Data チャンネル番号は、同じシステム内で重ならないように、  
 全ての入力チャンネルに対して設定してください。

**3** カメラ番号設定メニューを終了する。  
 MENU を押します。PS・Data 設定メニューに戻ります。

お買い上げ時の状態に戻すには

1. 電源スイッチを「OFF」にする。
2. MENU と + を同時に押しながら、再度電源スイッチを「ON」にする。

画像調節メニューおよびPS・Data 設定メニューの全項目が、お買い上げ時の状態に戻ります。

# システムコントローラーでの操作

## 操作を始める前に


本機は当社のシステムコントローラー（PS・Dataモード対応）を使って、9～11ページで説明した操作ができます。システムコントローラーをログインした状態で、システムコントローラーの取扱説明書と共に以下の説明をお読みください。（本書では、WV-CU360を使用した場合を例に説明しています。）

### 1 操作したいモニターを選択する。

操作したいビデオ受像機のユニットアドレスを選択する。

あらかじめ、システムコントローラーに接続している機器に対して、本機のユニットアドレスを設定しておいてください。（14ページ）

### 2 表示するチャンネルを設定する。

表示したいチャンネルに対応しているカメラ番号を選択して、 を押す。

カメラ番号は、PS・Dataモード対応の機器ごとに設定される3桁の数字（001～128）で、あらかじめ入力チャンネルの設定をしてから操作してください。（15ページ）

### 3 画像を調節する。










システムコントローラーで画像の調節を行うときの操作は、下表のようになります。

### 4 システム機能を使う。

本機は、PS・Dataモードのシステム機能に対応しています。

操作方法については、システムコントローラーの取扱説明書をお読みください。

（本機で使用できるシステム機能について 24ページ）

操 作	本体ボタン	システムコントローラー
画像調節メニューの表示	 を押す。	 を約2秒押す。
画像調節メニューの終了		
個別調節メニュー （バー表示）からの復帰		 を押す。
個別調節メニュー （バー表示）への移行	 を押す。	 を押す。（または、ジョイスティックを左/右倒し。）
下方向へのカーソル移動	 を押す。	ジョイスティックを下倒し。
上方向へのカーソル移動	 を押す。	ジョイスティックを上倒し。
設定値の減少等	 を押す。	ジョイスティックを左倒し。
設定値の増加等	 を押す。	ジョイスティックを右倒し。



# 工事説明

## 設置上のお願い

**⚠ 警告、⚠ 注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

- 本機の工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を始める前に、必ず電源スイッチを「OFF ■」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、温風の吹き出し口には設置しないでください。
- 周囲温度は、 $-10 \sim +50$ 、湿度は90%以下でお使いください。  
周囲温度の上昇を防ぐために、上面や側面を壁面から5 cm 以上離してください。
- 本機を上下に重ねて置かないでください。
- 本機を横に並べるときは5 cm 以上、間を離してご使用ください。  
相互に干渉しあい、画面に縞が入ることを防ぐためです。
- 車載用など振動の激しい場所には、設置しないでください。
- 収納台や棚に置く場合、後面の端子やケーブルに無理な力がかからないように奥行きを十分とってください。

### 電源ケーブルについて

付属の電源ケーブルをAC100V(50 / 60Hz)の電源に必ず遮断装置を介して接続します。  
次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
- (3) 3.0mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

### 配線のしかたについて

- 使用するケーブルの太さと長さを確認してください。  
同軸ケーブルの最大距離は5C-2Vで500 m、3C-2Vで250 mです。最大距離を超えると画像が乱れたり、雑音が入ったりします。
- 強度上の問題で、3C-2Vの同軸ケーブルを配管配線や、空中配線に使用しないでください。断線する恐れがあります。
- 以下に示すような場所に設置(配線)すると画像が曲がったり、雑音が入ったりすることがあります。
  - ① 電灯線に近づけて配線している。  
配線の位置や本機の位置を変更してください。
  - ② テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの近くで使用している(強い電界・磁界の近くで使用している)。  
強い電界や磁界が発生している場所ではカメラケーブルを専用の薄鋼電線管にケーブルを通して設置してください。2台以上のビデオ受像機をお使いのときはビデオ受像機ごとに薄鋼電線管を設けてください。

# 各部の名前と働き（後面）

イラストはWV-CM2080です。

## フォーカスコントロール [ FOCUS ]

画面のピントが合っていないときに調節します。  
調節が必要なときは、販売店にご相談ください。

## スクリーンコントロール

お買い上げ時に調節されています。調節が必要なときは、販売店にご相談ください。

## データ端子 [ DATA ]

本機とPS・Data モード対応機器をモジュラーケーブルで接続するときに使います。

## データ終端スイッチ [ ON / OFF ]

データ端子を使用して通信を行うための設定に使います。本機を1台、または複数台接続して使用するとき、終端となるビデオ受像機のデータ終端スイッチを[ON]にします。  
お買い上げ時の設定は[ON]です。

## スタンバイ ON 入力端子

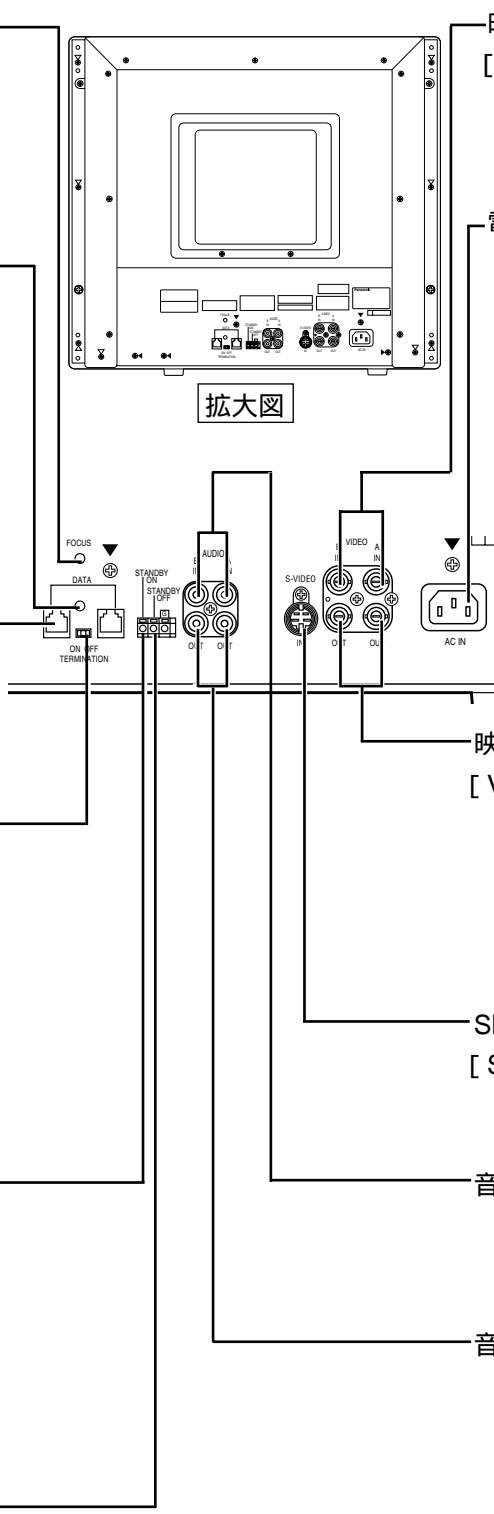
### [ STANDBY ON ]

フレームスイッチャーなどのアラーム復帰出力信号を入力して、通常出画状態からスタンバイ状態に外部から切り換えます。  
( 11ページ )

## スタンバイ OFF 入力端子

### [ STANDBY OFF ]

フレームスイッチャーなどのアラーム出力信号を入力して、スタンバイ状態を外部から解除させます。



## 映像入力端子

### [ VIDEO A / B IN ] ( BNC )

カメラやVTRなどの映像出力を接続します。

## 電源入力 [ AC IN ]

付属の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの電源プラグはAC100V( 50Hz / 60Hz )に接続してください。

## 映像出力端子

### [ VIDEO A / B OUT ] ( BNC )

映像入力端子に入力した画像が出力されます（ループスルー出力です）。VTRや次のビデオ受像機などの映像入力に接続します。

## S映像入力端子

### [ S-VIDEO IN ] ( S 端子 )

VTRなどのS映像出力を接続します。

## 音声入力端子 [ AUDIO A / B IN ]

( ピンジャック )

VTRなどの音声出力を接続します。

## 音声出力端子 [ VIDEO A / B OUT ]

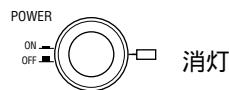
( ピンジャック )

音声入力端子に入力した音声が発音されます（ループスルー出力です）。VTRや次のビデオ受像機などの音声入力に接続します。

# 接続のしかた

1

電源スイッチを「OFF」にする。  
電源プラグをコンセントから抜いてください。



2

カメラやVTRなどを接続する。  
詳しくは19～21ページをお読みください。

3

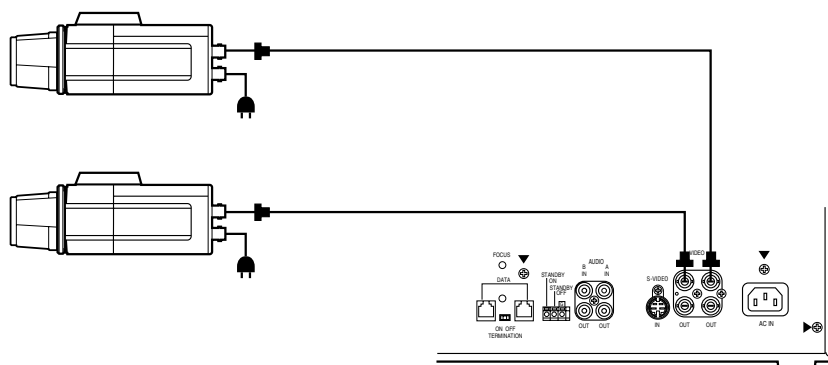
電源ケーブルを本機後面の電源入力、電源コンセントに接続する。

電源ケーブルは最後に接続してください。

電源ケーブルは機器の接続がすべて完了してから、接続してください。

## カメラの接続

カメラの映像出力端子と本機の [ VIDEO A IN ] または [ VIDEO B IN ] 端子を同軸ケーブル ( BNCプラグ付き ) で接続します。



ケーブルを接続するときは

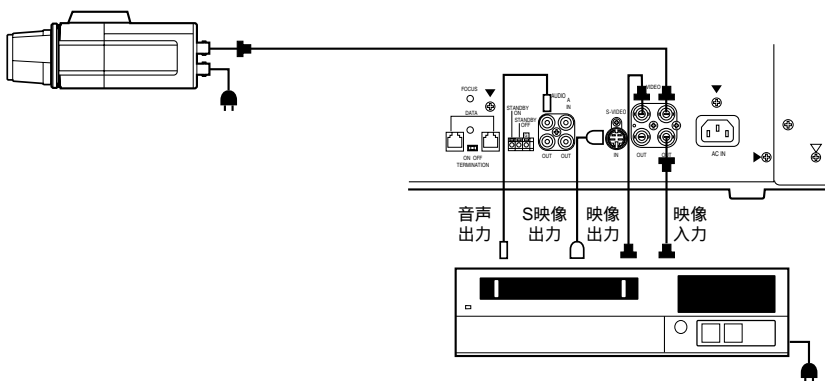
- カメラを接続する前に本機の電源スイッチが「OFF」になっていることを必ず確認してください。

## 接続のしかた

### VTRの接続

録画する場合...カメラ映像を録画するときは、カメラを接続したチャンネルの [ VIDEO OUT ] 端子と、VTRの映像入力端子を同軸ケーブルで接続します。

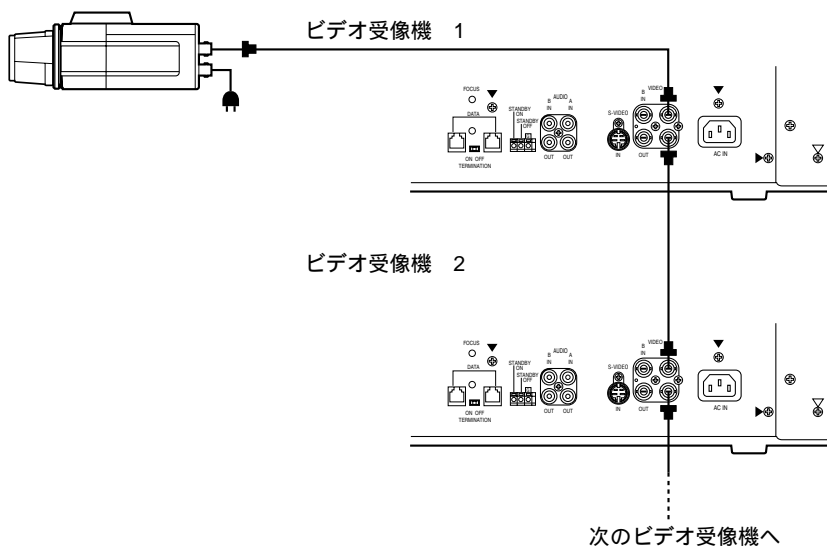
再生する場合...VTRの再生画像をモニターするときは、本機の [ VIDEO IN ] または [ S-VIDEO IN ] 端子とVTRの映像出力端子を同軸ケーブルで接続します。音声をモニターするときは本機の [ AUDIO IN ] 端子とVTRの音声出力端子をオーディオケーブルで接続します。



### 同じ画像を複数台のビデオ受像機で確認する

同じ画像を複数台のビデオ受像機で確認するときは、カメラを接続したチャンネルの [ VIDEO OUT ] 端子と、2台目のビデオ受像機の [ VIDEO IN ] 端子を同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。

3台目のビデオ受像機にも同じ画像を表示するときは、2台目のビデオ受像機の [ VIDEO OUT ] 端子と、3台目のビデオ受像機の [ VIDEO IN ] 端子を同軸ケーブル（BNCプラグ付き）で接続します。4台目以降も同様に接続します。



ケーブルを接続するときは

- 入力 (IN) と出力 (OUT) はよく確かめて、正しく接続してください。誤って接続すると、正しく終端されません。

ケーブルについて

- ケーブルは75 の同軸ケーブルをご使用ください。使用できる同軸ケーブルの種類と、カメラからビデオ受像機までの最大延長距離は下表のとおりです。(ビデオ受像機間の接続に用いるケーブル長は150 mを超えないようにしてください。)
- ビデオ受像機を複数台接続して使用する場合、接続台数は9台まで(合計10台)としてください。
  - ・ 総ケーブル長は、下表に記載されている最大延長距離以下になるようにしてください。
- カメラと接続する際は、インピーダンスの変化や画質劣化を防ぐため、以下の点にご注意ください。
  - ・ ケーブルを曲げる場合は、その円の半径がケーブル径の10倍以上になるようにしてください。
  - ・ ケーブルを潰したり、挟んだりしないでください。
- S映像ケーブルは損失が大きいため、接続に使用する際は、画質の劣化にご注意ください。

同軸ケーブルの種類	3C - 2V	5C - 2V	7C - 2V	10 - 2V
最大延長距離	250m	500m	600m	800m

3C - 2Vは強度上、配管配線、空中配線などには使用しないでください。

スタンバイ ON / OFF 入力端子の接続

スタンバイ ON 入力端子

0 ~ +5V正極性パルスにより動作します。

当社フレームスイッチャーなどと接続する場合は、アラーム復帰出力端子と接続してください。

アラーム復帰出力信号には極性があります。接続する機器の取扱説明書を参照の上、極性を設定してください。

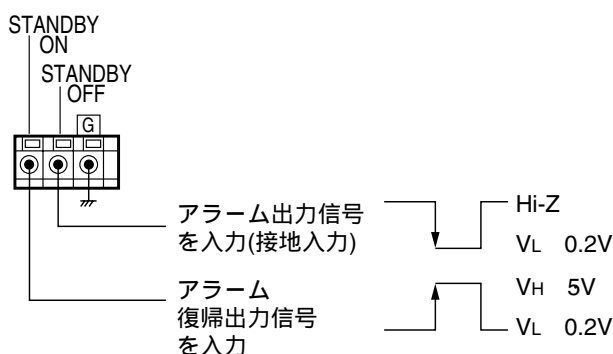
スタンバイ OFF 入力端子

無電圧メイク接点またはオープンコレクタ出力により動作します。無電圧メイク接点によって動作させる場合は、下記の条件をお守りください。

- ①動作電圧がDC 12V以下であること。
- ②メイク接点動作時のスタンバイOFF入力端子とアース端子間の電圧が0 ~ +0.2Vになること。  
また100ms以上このレベルであること。

当社フレームスイッチャーなどと接続する場合は、アラーム出力端子と接続してください。

アラーム出力信号には極性があります。接続する機器の取扱説明書を参照の上、極性を設定してください。

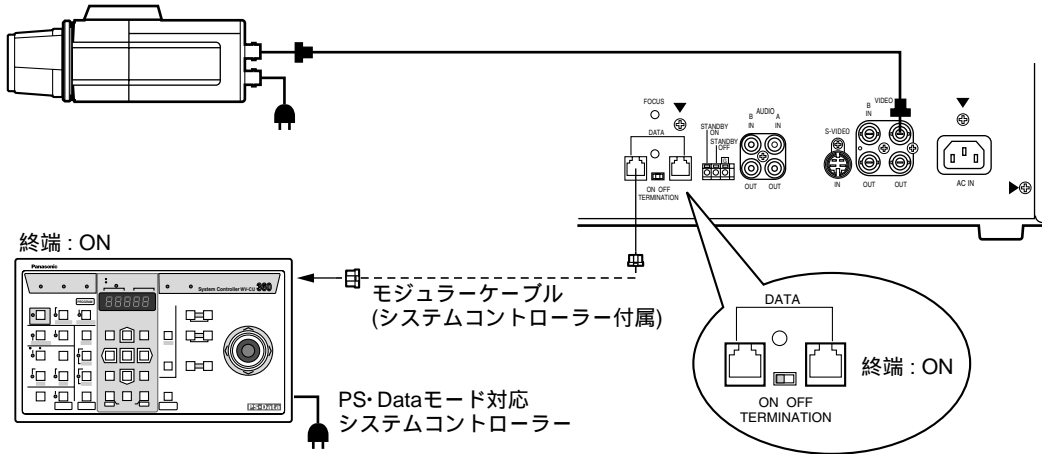


# PS・Data システムの接続について

## PS・Data モード対応機器の接続

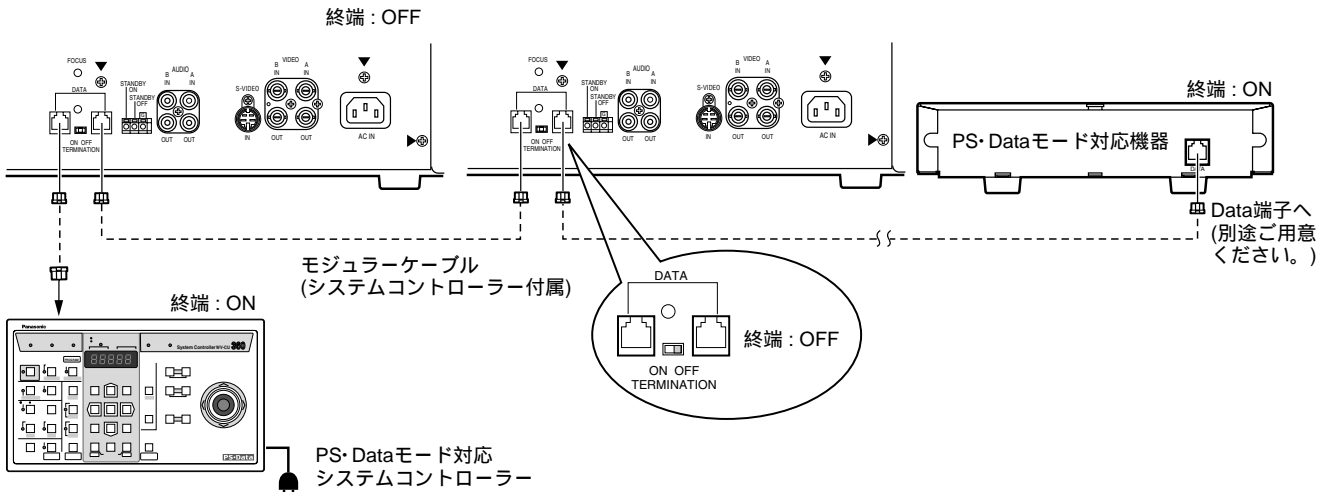
本機以外のPS・Data モード対応機器の終端については、その機器の取扱説明書をお読みください。

### 1台システムの例

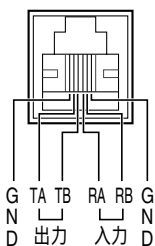


### 複数台システムの例

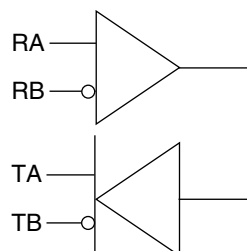
複数のPS・Data モード対応機器の接続は、下記のようにデジチェーン（数珠つなぎ）接続を行ってください。接続台数は1システムに対して16台までとして、総ケーブル長は500m以下になるようにしてください。



### DATA 端子について



### [内部ブロック図]



# ラックマウントのしかた (WV-CM1780/WV-CM1480)

1

本機の両側面にある4本のねじを外す。

2

ラックマウント金具（左、右）を本機に取り付ける。

ラックマウント金具は下記別売品をご使用ください。

WV-CM1780用.....WQ-LM170

WV-CM1480用.....WQ-LM140

取り付けねじM4×12（4本）はラックマウント金具に付属されています。

3

プッシュナットをラックに取り付ける。

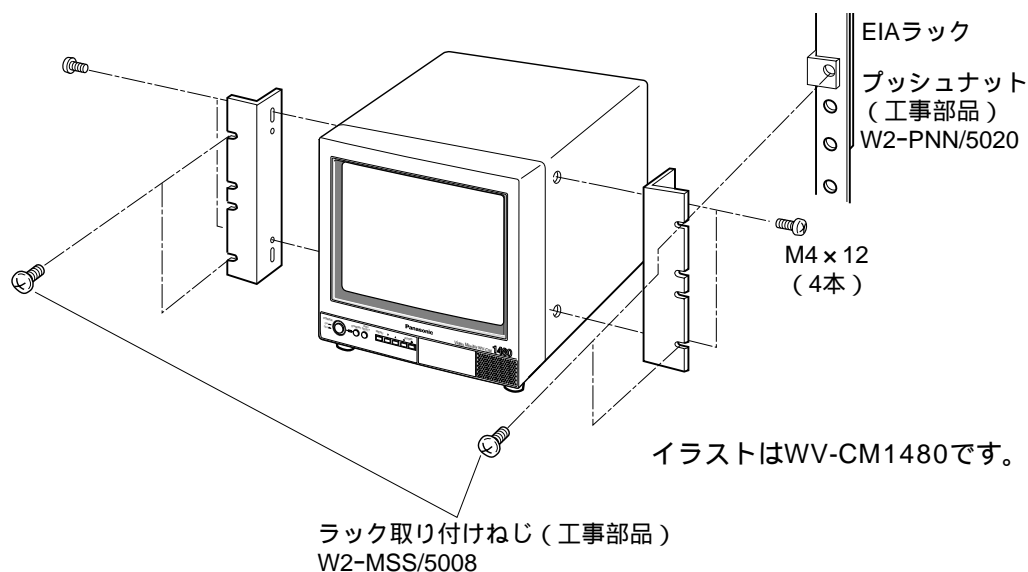
プッシュナットは工事部品W2-PNN/5020（20個入り：別売品）をご使用ください。

ラックにタップが切つてあるときは不要です。

4

ラック取り付けねじでラックに本機を取り付ける。

ラック取り付けねじは工事部品W2-MSS/5008（20個入り：別売品）をご使用ください。



## ラックについて

本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)

ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)

EIA規格相当品 : EIA19型 奥行450mm以上

## ラックに取り付けるときは

- 車載用など、振動の激しい場所では使用しないでください。
- ラックの内部温度が+45℃以上にならないよう、十分に換気をしてください。
- ファンを使用するときはファンから本機を離してください。ファンの近くに本機を取り付ける必要があるときは、磁気シールドタイプのファンを使用してください。ファンからの磁気線によって画像が乱れるのを防止するためです。

# 付録

ここでは、本機とシステムコントローラー間の通信（RS-485）について説明します。  
 本機の通信設定（ボーレート、パリティ、ストップビット）をパソコンの通信設定と合わせてください。  
 （ 14ページ）

## コマンド書式について

Code	[STX]	[A] [D]<ユニットアドレス>	[:]	<コマンド>	[:]	<パラメータ>	[ETX]
ASCII	(02H)	( ) ( ) ( ) ( )	( )	( )	( )	( )	(03H)

ユニットアドレスの設定範囲：001～099

## コマンド一覧

送信コマンドは、アドレスに続く3桁の英文字で構成されています。  
 コマンドの次にコロンの「:」とパラメータを入力してください。

項 目	コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
音量の調節	VRA : n	n = + 調節値 + 1 n = - 調節値 - 1
明るさの調節	VRB : n	n = + 調節値 + 1 n = - 調節値 - 1
コントラストの調節	VRC : n	n = + 調節値 + 1 n = - 調節値 - 1
画質の調節	VRS : n	n = + 調節値 + 1 n = - 調節値 - 1
色の濃さの調節	VRO : n	n = + 調節値 + 1 n = - 調節値 - 1
色あいの調節	VRT : n	n = + 調節値 + 1 n = - 調節値 - 1
AFC の調節	VRF : n	n = 0 SHORT n = 1 LONG
3.58 MHz トラップの調節	VRP : n	n = 0 OFF n = 1 ON
スタンバイ ON の選択	MSB : n	n = 0 無効 n = 1 モード1：低輝度画スタンバイ n = 2 モード2：黒画スタンバイ
スタンバイ機能の選択 (スタンバイボタン相当)	OSB : n	n = 0 通常出画 n = 1 モード1：低輝度画スタンバイ n = 2 モード2：黒画スタンバイ
CH 表示の選択	DCH : n	n = 0 OFF n = 1 ON



## システム機能一覧

本機に割り当てられているシステム機能は、下表の通りです。

システム機能番号	機 能
001	モニターリセット（映像調節メニュー1ページ目の内容を、お買い上げ時の状態に戻す）
002	明るさの調節：調節値を0に戻す
003	明るさの調節：調節値 + 1
004	明るさの調節：調節値 - 1
005	コントラストの調節：調節値を0に戻す
006	コントラストの調節：調節値 + 1
007	コントラストの調節：調節値 - 1
008	画質の調節：調節値を0に戻す
009	画質の調節：調節値 + 1
010	画質の調節：調節値 - 1
011	色の濃さの調節：調節値を0に戻す
012	色の濃さの調節：調節値 + 1
013	色の濃さの調節：調節値 - 1
014	AFCの調節：「SHORT」を選択
015	AFCの調節：「LONG」を選択
016	色あいの調節：調節値を0に戻す
017	色あいの調節：調節値 + 1
018	色あいの調節：調節値 - 1
019	3.58 MHz トラップの調節：「OFF」を選択
020	3.58 MHz トラップの調節：「ON」を選択
021	音量の調節：調節値を0に戻す
022	音量の調節：調節値 + 1
023	音量の調節：調節値 - 1
024	スタンバイ ON の選択：「無効」を選択
025	スタンバイ ON の選択：「モード1」を選択
026	スタンバイ ON の選択：「モード2」を選択
027	CH 表示の選択：「OFF」を選択
028	CH 表示の選択：「ON」を選択
034	スタンバイ機能の選択：「通常出画」を選択 （スタンバイボタン相当）
035	スタンバイ機能の選択：「モード1スタンバイ」を選択 （スタンバイボタン相当）
036	スタンバイ機能の選択：「モード2スタンバイ」を選択 （スタンバイボタン相当）

# 故障と思われる前に

症 状	調 べ る と こ ろ	対 策
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
画像が出ない	カメラのレンズキャップをはずしていますか？ 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？ 電源表示灯が橙色になっていませんか？	カメラのレンズキャップをはずしてください。 同軸ケーブルを正しく接続してください。 スタンバイボタンを押して、スタンバイ状態を解除してください。
画像が暗い	「明るさ」、「コントラスト」が最小になっていませんか？	画像調節メニューで「明るさ」、「コントラスト」を調節してください。
表示色が異常 (色むら、色ずれ)	近くにテレビやスピーカー、ファン等、磁気を帯びたものはありますか？  画像表示中に本機の向きを変えませんでしたか？	影響のないところまでできるだけ離してください。  電源スイッチを入れ直してください。

# 仕 様

基本仕様	WV-CM2080	WV-CM1780	WV-CM1480
電 源	AC 100 V 50 / 60 Hz		
消 費 電 力	約 90 W	約 64 W	約 62 W
ブ ラ ウ ン 管	90° 偏向 21 型対角	90° 偏向 17 型対角	90° 偏向 15 型対角
画 面 サ イ ズ	(対角)510 mm	(対角)406 mm	(対角)356 mm
テレビジョン方式	NTSC		
解 像 度 (水平中心部にて)	500 本以上	800 本以上	750 本以上
水平走査周波数	15.734 kHz		
垂直走査周波数	60 Hz		
偏 向 振 幅	約 8 % (オーバースキャン)		
AFC切り換え	ショート/ロング		
3.58 MHzトラップ	ON / OFF		
スピーカー出力	約 0.7 W		
使用温度範囲	- 10 ~ + 50		
湿 度	90 %以下		
寸 法 (高さ: ゴム足含まず) (奥行き: 突起部含まず)	幅 482 mm 高さ 443 mm 奥行き 476 mm	幅 406 mm 高さ 354 mm 奥行き 426 mm	幅 370 mm 高さ 352 mm 奥行き 399 mm
質 量	約26 kg	約18.5 kg	約15 kg
仕 上 げ カ バ ー エスカッション	AVアイボリーエリオ鋼板 (マンセル 7.9Y6.8/0.8 近似色) AVアイボリー色樹脂製 (マンセル 7.9Y6.8/0.8 近似色)		

## 入出力

映 像 入 力	1.0 V[p-p]コンポジット / 75 (BNCコネクター × 2)
S 映 像 入 力	Y : 1.0 V[p-p] / 75 C : 0.286 V[p-p] / 75 (S 端子 × 1)
映 像 出 力	映像入力のループスルー出力 (75 自動終端) (BNCコネクター × 2)
音 声 入 力	- 8 dB/Hi-Z (ピンジャック × 2)
音 声 出 力	音声入力のループスルー出力 (ピンジャック × 2)
スタンバイON入力	DC 0/5 V パルス入力 (スクリューレス端子台)
スタンバイOFF入力	オープンコレクタまたは無電圧メイク接点入力 (スクリューレス端子台)
デ ー タ 入 出 力	RS485 相当 (モジュラージャック × 2)

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラービデオ受像機の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。  
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼される時

26ページの表に従ってご確認の後、まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日
品 番	WV-CM2080, CM1780, CM1480
販 売 店 名	
	☎( ) -

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

Np0800-3111 V8QA5589DN

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd. (松下通信工業株式会社)2000